

令和5年度 作新学院高校 (トップ英進部・英進部)

1 次の(1)から(4)までの問いに答えなさい。

(1) $\frac{3}{4} \times \{-3 \times (-2)^3 - 4\}$ を計算すると、 $\boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}$ である。

(2) $\left(-\frac{3}{4}\right)^2 \div \left(-\frac{x}{y}\right)^3 \div \frac{3y}{x^5}$ を計算すると、 $\frac{\boxed{\text{ウ}}\boxed{\text{エ}}}{\boxed{\text{オ}}\boxed{\text{カ}}}$ $x^{\boxed{\text{キ}}}$ $y^{\boxed{\text{ク}}}$ である。

(3) $(x-2)^2 - 3(x-4)(x+1)$ を計算すると、 $\boxed{\text{ケ}}\boxed{\text{コ}}x^2 + \boxed{\text{サ}}x + \boxed{\text{シ}}\boxed{\text{ス}}$ である。

(4) $\sqrt{48} - \frac{6}{\sqrt{3}} + 3\sqrt{27}$ を計算すると、 $\boxed{\text{セ}}\boxed{\text{ソ}}\sqrt{\boxed{\text{タ}}}$ である。

2 次の(1)から(7)までの問いに答えなさい。

(1) 連立方程式
$$\begin{cases} \frac{3}{7}x + y = 1 \\ 2x - \frac{1}{3}y = -2 \end{cases}$$
 を解くと、 $x = \frac{\boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$ 、 $y = \frac{\boxed{\text{エ}}}{\boxed{\text{オ}}}$ である。

(2) $\sqrt{20n}$ と $\sqrt{n-9}$ がともに整数となるような自然数 n のうち、最小の n は、 $n = \boxed{\text{カ}}\boxed{\text{キ}}$ である。

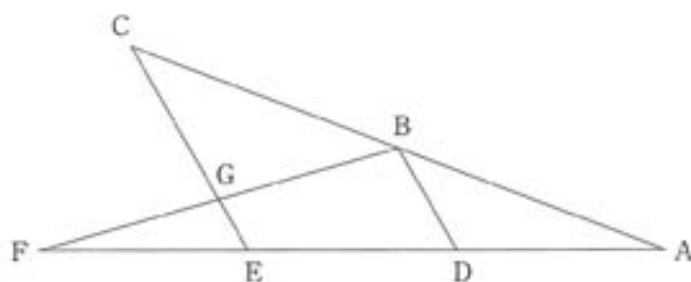
(3) タンクに水を入れるための2つの給水口 A, B がある。空のタンクに A だけ開いて5分間水を入れて閉じる。続けて B だけ開き4分間水を入れたら、水の量はタンクの容量全体の $\frac{7}{10}$ になった。その後さらに、A, B の両方を開いて水を入れると、2分後にタンクの容量がいっぱいになった。タンクが空の状態から、B だけ開いて水を入れるとき、タンクは $\boxed{\text{ク}}\boxed{\text{ケ}}$ 分でいっぱいになる。

(4) 1 から 10 の番号を1つずつ書いた10枚のカードがある。この中から同時に2枚のカードを取り出すとき、カードに書かれた数の積が3の倍数にならない確率は、 $\frac{\boxed{\text{コ}}}{\boxed{\text{サ}}\boxed{\text{シ}}}$ である。

(5) 右の図において、 $AB = BC$ 、 $AD = DE = EF$

である。 $BD = 5$ であるとき、 $CG = \frac{\text{ス:セ}}{\text{ソ}}$

である。

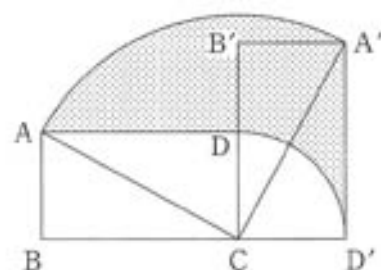


(6) 右の図のように、 $AB = 3$ 、 $BC = 4$ 、 $CA = 5$ の長方形 ABCD を、

点 C を中心として時計回りに 90° だけ回転し、四角形 $A'B'CD'$ の位置に移動させた。辺 AD が通過した部分にできる図形の面積は、

$\frac{\text{タ}}{\text{チ}}\pi$ である。

ただし、 π は円周率である。



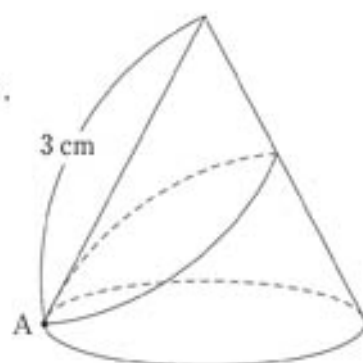
(7) 右の図のような、母線の長さが 3 cm である円錐がある。底面の

円周上に点 A をとり、点 A から円錐の周りに最短距離でひもを結んだとき、

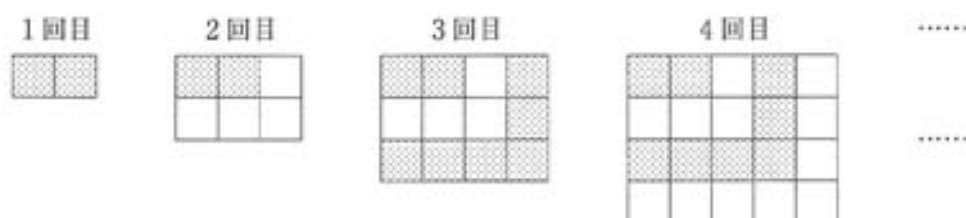
そのひもの長さが 3 cm であった。このとき、円錐の表面積は、

$\frac{\text{チ}}{\text{ツ}}\pi\text{ cm}^2$ である。

ただし、 π は円周率である。



3 黒いタイルと白いタイルを、下の図のような規則に従って並べていく。



このとき、次の(1)から(4)までの問いに答えなさい。

(1) 7回目までに並べたタイルの総数は、 $\frac{\text{ア:イ}}{\text{ウ}}$ 枚である。

(2) n 回目までに並べたタイルの総数は、 $\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ 枚である。 $\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ に適する式を、①～④から選べ。

- ① $n(n+1)$ ② $n(n-1)$ ③ $n(n+2)$ ④ n^2

(3) 102回目まで並べたとき、最後に並べられた黒いタイルは、 $\frac{\text{エ:オ:カ}}{\text{キ}}$ 枚である。

(4) n 回目までに並べられたタイルの総数から、 $(n-2)$ 回目に並べたタイルのみを除くと、

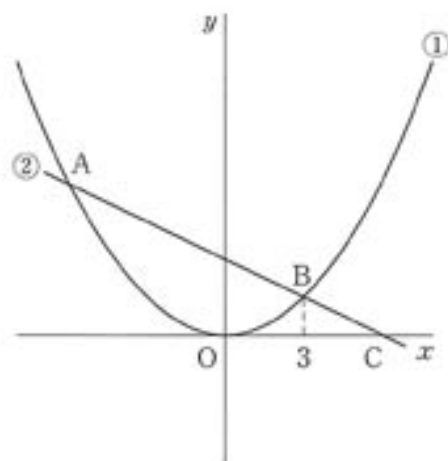
タイルは 276 枚であった。このとき、 $n = \frac{\text{キ:ク}}{\text{ケ}}$ である。

4 右の図のように、放物線 $y = ax^2$ ($a > 0$) …… ①

と直線 $y = -\frac{1}{2}x + 3$ …… ② が異なる2点 A, B で交わっている。

また、② と x 軸との交点を C とする。

点 B の x 座標が 3 のとき、次の (1) から (4) までの問いに答えなさい。



(1) 点 B の座標は、 $\left(3, \frac{\text{ア}}{\text{イ}}\right)$ である。

また、点 B は ① 上の点でもあるから、 $a = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ である。

さらに、① 上の点 A は、 $\left(t, \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}t^2\right)$ と表せ、これが ② 上の点でもあるから、

$t = \frac{\text{オ}}{\text{カ}}$ であり、 $A\left(\frac{\text{オ}}{\text{カ}}, \frac{\text{キ}}{\text{ク}}\right)$ である。

(2) $\triangle OAB$ の面積は、 $\frac{\text{ク}}{\text{ケ}}$ である。

(3) ① 上の $x > 3$ または $x < \frac{\text{オ}}{\text{カ}}$ の範囲に点 P をとる。 $\triangle PAB$ の面積が、 $\triangle OAB$ の面積の 2 倍となるとき、点 P は直線 $y = -\frac{1}{2}x + \text{サ}$ 上にあるから、点 A と同様に点 P の座標を求めると、 $\left(\frac{\text{シ}}{\text{ス}}, \frac{\text{タ}}{\text{チ}}\right)$ または $\left(\frac{\text{セ}}{\text{ソ}}, \frac{\text{タ}}{\text{ツ}}\right)$ である。

(4) $P\left(\frac{\text{シ}}{\text{ス}}, \frac{\text{タ}}{\text{チ}}\right)$ とするとき、 $\triangle APC$ を x 軸のまわりに 1 回転させてできる立体の体積は、 $\frac{\text{テ}}{\text{ト}} \cdot \text{ナ}$ π である。

ただし、 π は円周率である。

- 5 図1のように、 $AB = 9$ 、 $\angle ABC = \angle BCD = 90^\circ$ の台形 $ABCD$ がある。点 P は頂点 A を出発し、一定の速さで辺 AB 、 BC 、 CD 上を通過して、点 D まで移動する。点 P が頂点 A を出発してから x 秒後の3点 A 、 P 、 D を結んでできる $\triangle APD$ の面積を y とする。また、図2は、 x と y の関係をグラフに表したものである。ただし、点 P が、頂点 A 、 D 上にあるときは $y = 0$ とする。このとき、次の(1)から(4)までの問いに答えなさい。

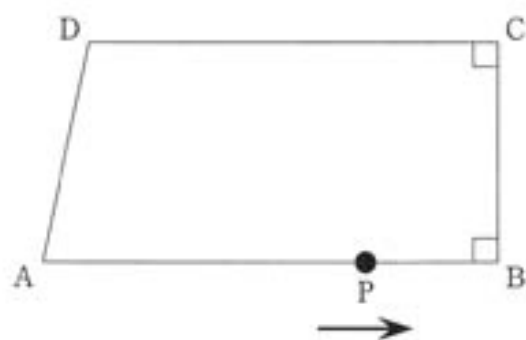


図1

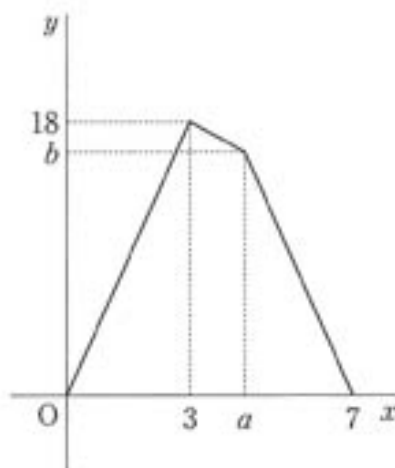


図2

- (1) 点 P が移動する速さは、毎秒 $\boxed{\text{ア}}$ である。
- (2) $\triangle ABC$ の面積は、 $\boxed{\text{イ}}\boxed{\text{ウ}}$ であるから、 $BC = \boxed{\text{エ}}$ である。
また、 x の変域が $0 \leq x \leq 7$ であるから、 $CD = \boxed{\text{オ}}$ である。

- (3) 図2において、 $a = \frac{\boxed{\text{カ}}\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}}$ 、 $b = \boxed{\text{ケ}}\boxed{\text{コ}}$ である。

- (4) 点 P が辺 BC 上にあるときを考える。

x の変域は、 $\boxed{\text{サ}} \leq x \leq \frac{\boxed{\text{カ}}\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}}$ である。

$\triangle APD$ の面積を x を用いて表すと、 $\frac{\boxed{\text{シ}}\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}}x + \frac{\boxed{\text{ソ}}\boxed{\text{タ}}}{\boxed{\text{チ}}}$ となり、

$\triangle ABP$ の面積を x を用いて表すと、 $\frac{\boxed{\text{ツ}}\boxed{\text{テ}}}{\boxed{\text{ト}}}x - \frac{\boxed{\text{ナ}}\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}}$ となる。

よって、 $\triangle APD$ と $\triangle ABP$ の面積が等しくなるのは、点 P が頂点 A を出発してから $\frac{\boxed{\text{ネ}}\boxed{\text{ノ}}}{\boxed{\text{ハ}}}$ 秒後である。

数学正答用紙 第1回入学試験

トップ英進部・英進部

大問	小問	正答	配点	
1	(1)	ア	1	※
		イ	5	
	(2)	ウ	-	
		エ	3	
		オ	1	
		カ	6	
		キ	2	
	(3)	ク	2	
		ケ	-	
		コ	2	
		サ	5	
		シ	1	
	(4)	ス	6	
		セ	1	
ソ		1		
	タ	3		

大問	小問	正答	配点	
2	(1)	ア	-	※
		イ	7	
		ウ	9	
		エ	4	
		オ	3	
	(2)	カ	4	
		キ	5	
	(3)	ク	2	
		ケ	0	
	(4)	コ	7	
		サ	1	
		シ	5	
	(5)	ス	1	
		セ	5	
		ソ	2	
	(6)	タ	4	
	(7)	チ	7	
		ツ	4	

大問	小問	正答	配点	
3	(1)	ア	5	※
		イ	6	
	(2)	ウ	1	
	(3)	エ	2	
		オ	0	
	(4)	カ	2	
		キ	1	
		ク	7	

大問	小問	正答	配点	
4	(1)	ア	3	※
		イ	2	
		ウ	1	
		エ	6	
		オ	-	
		カ	6	
	(2)	キ	6	
		ク	2	
		ケ	7	
	(3)	コ	2	
		サ	9	
		シ	6	
		ス	6	
		セ	-	
		ソ	9	
		タ	2	
		チ	7	
		ツ	2	
		(4)	テ	
	ト		8	
ナ	8			

大問	小問	正答	配点	
5	(1)	ア	3	※
		イ	1	
		ウ	8	
	(2)	エ	4	
		オ	8	
		カ	1	
	(3)	キ	3	
		ク	3	
		ケ	1	
		コ	6	
		サ	3	
	(4)	シ	-	
		ス	3	
		セ	2	
		ソ	4	
		タ	5	
		チ	2	
		ツ	2	
		テ	7	
		ト	2	
		ナ	8	
		ニ	1	
		ヌ	2	
		ネ	2	
ノ	1			
ハ	5			